

目標および成果指標の設定

活動団体名： 余市町観光地域づくり協議会

上位関連計画にみる地域の将来
 ○地球温暖化対策推進法や政府の目標：2013年度比で2030年までに46%削減、2050年までにカーボンニュートラル達成
 ○第5次エネルギー基本計画における、2030年に実現を目指す再エネの電源構成比率：22～24%、2030年に実現を目指す実質エネルギー効率（最終エネルギー消費量／実質GDP）35%減。
 ○現在の人口：19607人（2015年）、将来：14430人（2030年）、9847人（2045年）
 ○余市町観光振興計画（2018年度～2022年度）：1,283千人／年→1,600千人／年
 ○余市町総合計画における「環境保全」の基本目標「地球温暖化防止対策のための計画を策定し、温室効果ガス排出削減の目標に向けた取り組み」「ごみの減量化・資源化を推進するために新たな資源回収に向けた取り組み」の推進等

②具体的な取組
 ①協議会の構成員を中心に、町内の生産者や飲食店、ガイドらの地域内ネットワークと旅行業や教育関係など外部との協働体制（プラットフォーム）を構築する。
 ②プラットフォームを拡充しつつ、地域住民が地域資源や課題を深く理解するための学びの機会を作る。
 ③プラットフォームを活用し、地域ぐるみで教育・研修のプログラムづくりと受入れを実施する。
 ④旅行者、ボランティア、季節雇用者（外国人労働者）らを地域の担い手として受入れる環境を整備する

①ありたい未来
 住民が自らの資源（自然、産業、歴史など）や課題を深く理解する機会が日常的にあり、地域で大事にしたいもの、守りたいものが共有されている。住民が地域に誇りをもってそれを発信したり、自分たちの豊かな暮らしを外から来る人達に伝えるようになり、訪れる人たちの交流が自然に生まれる。
 地域の資源や課題を素材にした教育旅行や企業研修を受け入れることで、地域の環境、経済、社会が向上する仕組みができあがる。
 外部から訪れる旅行者やボランティア、アルバイトなどの人材が一過性・季節的な滞在から、リピーター、長期滞在型になったり、移住して起業したりして、多様な地域の担い手となる。

③短期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値 (2022年度末)	実績値 (●●年度末)	単位
環境	SDGs研修	地産弁当の開発と提供	80	500		食
		海浜清掃・森林管理・外来種除去	6	23		回
経済	SDGs研修	受入人数（生徒数）	80	500		人
		協力事業者（農業・漁業）	3	6		戸
		協力事業者（飲食・加工）	1	5		社
		ガイド／インタープリター	3	10		人
	一次産業の担い手支援	農業ボランティア等	10	30		人
社会	SDGs研修	教材／プログラム開発勉強会	3	5		回
		参加者のべ数	20	50		人
	よいち版地元学	勉強会（食育等）	1	5		回
		参加者のべ数	20	50		人
	プラットフォーム運営	地域意見交換会	1	3		回
		参加者のべ数	23	50		人

④長期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値 (2022年度末)	目標年度 2030-2050年度	目標値	単位
環境	SDGs研修	地産弁当の開発と提供	80	500	2030年度	3,000	食
		海浜清掃・森林管理・外来種除去	6	23	2030年度	50	回
	よいち版地元学	地域給食の推進	-	-	2030年度	3	校
		シリバ山登山道維持管理の参加	-	-	2030年度	50	人
	環境意識の向上	環境配慮型農業等の取組団体割合	-	-	2030年度	25	%
		環境問題に関する住民の取組割合	-	-	2030年度	70	%
経済	SDGs研修	受入人数（教育旅行・企業研修）	80	500	2030年度	3,000	人
		協働事業者（農業・漁業）	3	6	2030年度	20	戸
		協力事業者（飲食・加工）	1	5	2030年度	15	社
		ガイド／インタープリター	3	10	2030年度	30	人
	シリバ山ガイドリーフレット		-	-	2030年度	1,000	部
		広域連携組織の設立	-	-	2030年度	5	自治体
	一次産業の担い手支援	農業ボランティア等	10	30	2030年度	100	人
	地域の事業者間連携	プロジェクト件数	-	-	2030年度	5	件
	プラットフォーム運営	専従職員数	0	0	2030年度	2	人
	社会	SDGs研修	教材／プログラム開発勉強会	3	5	2030年度	10
参加者数のべ数			20	50	2030年度		人
よいち版地元学		勉強会（食育等）	1	5	2030年度	20	回
		参加者数のべ数	20	50	2030年度	150	人
プラットフォーム運営		地域意見交換会	1	3	2030年度	4	回
		参加者数のべ数	23	50	2030年度	100	人

⑤短期指標が長期目標にどのように関わるのかお書きください

研修や勉強会など学びの機会が増え、地域内外で活動に関わる人口（関係人口、事業連携）が拡大するにつれて、地域の社会的・経済的な充足度が高まる。また、地域住民が自分たちの資源の大切さを理解し、愛着が高まると、身近な自然環境や伝統文化を保全しようという動きにつながるとともに、地域内外の交流が活発になることで、移住者や二地域居住者が増える。さらに、観光業をハブに農業、漁業、飲食業などの異業種連携が進んで事業の安定、拡大が図られ、雇用や所得の増加が期待される。